

## Ⅱ 令和元年度振り返り結果

### 1 施策評価

市では、令和7年を目標年次とする総合計画において、「ひと・まち・未来が輝き 世界につながるまち盛岡」という目指す将来像のもと4つの基本目標を掲げ、まちづくりの課題である29の施策を推進しています。

施策評価は、各施策が目的や目標に対し、どの程度推進されたか等の視点により評価しており、評価シートでは、施策の目標値に対する実績値の推移をグラフ化して示しています。この他、施策のもとに位置付けられた小施策の評価結果を踏まえ、成果と問題点を分析し、今後の方向性を示しています。

### 2 小施策評価

施策の目的達成に向けて取り組む課題を明確にするために、それぞれの施策のもとに91の小施策を位置付けています。

小施策評価は、各小施策が目的や目標に対し、どの程度推進されたか等の視点により評価しており、評価シートでは、小施策の目標値に対する実績値の推移をグラフ化して示しています。この他、実績の評価を踏まえた今後の方向性を示しています。

なお、評価シートは、盛岡市公式ホームページに掲載しています。

<http://www.city.morioka.iwate.jp/shisei/jichitaikeiei/gyoka/index.html>

# 施策評価シートの見方

## 【施策評価(令和元年度実績評価)】

### 施策の総合計画における位置付け

基本目標	人がいきいきと暮らすまちづくり
施策	地域福祉の推進
施策主管部等	保健福祉部
評価責任者	村上 淳 保健福祉部長
評価シート作成者	藤澤 多津子 保健福祉部次長

総合計画の「基本目標」の通し番号です。  
総合計画の「施策」の通し番号です。

### 「施策の目的」と「施策評価全体を踏まえた評価責任者意見」

<p>施策の目的(総合計画実施計画から転記)</p> <p>誰もが住み慣れた地域で、それぞれの個性や尊厳を認め合いながら、共に生活を続けることができるように、地域住民が互いに支え合う地域社会の形成を推進する。</p>
--

<p>施策評価全体を踏まえた評価責任者意見</p> <p>地域における包括的な相談支援システムの構築には、地域力を高めながら、個別支援だけでなく、地域資源を活かした仕組みづくりを推進し、各分野の相談支援機関などが有機的に連携できるような仕組み(地域トータルケアシステム)を構築して、「共に支え合うことができる地域環境づくり」に取り組んでいく必要がある。 その主軸となる地域福祉コーディネーターの設置を着実に進めるとともに、地域住民が自ら課題解決に取り組む意欲を醸成する必要がある。</p>
--

施策の全体を見た大きな視点で評価し、長期的な展望や特に注力すべき取組などを記載しています。

### 施策の概要

<p>主な取組内容</p> <p>令和元年度の主な取組内容を</p> <p>・地域福祉コーディネーターを中心とした市内の相談支援機関が、民生委員や包括支援センターなどから寄せられた相談ごとを連携して支援できる体制を構築している。また、「地域力強化推進事業」として、モデル地区を3地区選定し、地域住民が主体的に地域課題を把握して解決を試みる体制づくりを支援している。さらに、高齢者や子育てをしている者を地域で支える取組としてシルバーサロン事業の推進及びボランティア養成等に取り組んでいる。 ・地域における日常生活の支え合いの可能性を高めるとともに、コミュニティベースの経済循環にも寄与する仕組みの構築に向けた自主財源の確保等について調査研究することを目的とした「地域福祉の推進とコミュニティ経済の循環促進調査研究事業」にモデル地区を3地区選定し、おでかけバス事業等を実施した。 ・災害の発生に備え、避難行動要支援者名簿を毎年更新して、災害時の支援が必要な方の把握に努めている。 将来的に地域福祉を支える人材である高校生の育成に取り組む。地域福祉や地域共生社会の形成促進を図っている。</p>
--

対象(誰(何)を対象として行うのか)	意図(対象をどのようにしたいのか)
支援を必要としている市民	支援を必要としている市民が、福祉サービスを適確に受けられる。
地域	共に支え合うことができる環境が地域に醸成される。
市民	仕組みと地域環境をつくり、支える人材が養成される。

### 施策の成果指標の状況・評価

実績値の推移		進捗の評価		実績値の推移		進捗の評価	
指標①	まちづくり評価アンケート調査「福祉サービスが適切に受けられる」と答えた市民の割合	単位 %	目指す方向 ↗	指標②	まちづくり評価アンケート調査「地域で支え合いが進んでいる」と答えた市民の割合	単位 %	目指す方向 ↗
当初値(H26)	22.9	R1目標値	26.4	R6目標値	30.0	◎ 非常に順調に進捗している(R1目標値を達成している)	○ 順調に進捗している(R1目標値を達成する見込み)
<p>※H27に新しく設定した指標</p>				<p>「↑」は実績値を上げていくことを、「↓」は実績値を下げていくことを、「→」は当初値を維持していくことを目標とするものです。</p> <p>当初の目標値を越えて福祉サービスが適切に受けられると回答している背景には、高齢化社会の進展により、介護サービス等を受けたいと考える方、もしくは家族に受けさせたいと考える方が増え、地域における福祉サービスの需要が高まっていることが背景にあると考えられる。 また、ゴミ屋敷など、複合的な要因により解決困難な事例に対しても、多様な支援機関同士が、連携して支援する取り組みが、社会福祉協議会や民生委員などを通じて、地域に浸透しつつある。 さらに、福祉総合ワンストップ窓口を社会福祉協議会への委託事業で設置したことも要因である</p>			
<p>進捗の評価(3段階): ◎ 非常に順調に進捗している (R1目標値を達成する見込み)、○ 順調に進捗している (R1目標値を達成する見込み)、● 進捗を3段階で評価しています。 ◎ 非常に順調に進捗している(令和元年度目標値を達成しており、令和6年度目標値も達成見込み) ○ 順調に進捗している(令和元年度目標値には達していないが、それに近い水準まで達しており、令和6年度目標値は達成見込み) △ 遅れが生じている(令和元年度目標値は未達であり、令和6年度の目標値達成にもかなりの努力を要する)</p>				<p>指標の実績値の状況を分析し、実績が上がった(下がった)理由、背景にあるもの(社会情勢等)、効果が出ている取組などを記載しています。</p> <p>※H27に新しく設定した指標</p>			

施策の進捗状況を客観的な数値で表した指標を設定し、目標達成度を評価する判断材料としています。

施策のもとに位置付けられた小施策です。(数字は総合計画の「小施策」の通し番号)

小施策評価の結果を踏まえ、小施策毎の成果点・問題点を記載しています。

左欄の成果点・問題点を基に、今後の方向性を記載しています。

### 小施策評価を踏まえた「成果点・問題点」と「今後の方向性」

小 施 策	成 果 点 ・ 問 題 点
1-1 支援を必要とする人が福祉サービスを受けられる仕組みづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉コーディネーターによるごみ屋敷への対応など、複合的な要因により解決困難な事例に対し、必要と思われる部門と連携して、必要なサービスに結び付ける仕組みの構築が推進された。</li> <li>・ひきこもり者を抱える世帯などは、問題が表面化しにくく、相談につながりにくい。</li> </ul>
1-2 共に支え合うことができる地域環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国的に災害が発生している中、災害発生時に避難行動をとる際の補助となる「あんしん連絡バック」を配布した。</li> <li>・災害時における人工呼吸器等在宅医療者への支援に関する協定を締結した。</li> <li>・個人情報流出を懸念する方等により、避難行動要支援者情報提供同意者の人数が増加しない。</li> </ul>
1-3 地域福祉を担うひとづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来の地域福祉活動の担い手である高校生に地域福祉人材育成事業の養成講座への参加を広く呼びかけ、参加校が増加した。</li> <li>・講座への参加等、地域活動へ興味を示す人は多くなったが、実際の活動まで結びつかない。</li> </ul>

今 後 の 方 向 性
<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉法の改正に伴う「重層的支援体制整備事業」の実施に向けて、既存の特定の分野の相談機関において、属性によらない相談を受け付けるために、多機関と連携し、相談機能の向上を図っていく。また、民生児童委員の相談業務の複合化・多様化等により、見守りなどの事例が増加していることなどから、包括的な相談窓口の周知や活用を図り、必要な福祉サービス等の利用につなげていく。</li> <li>・従来事業を継続し、民生委員による避難行動要支援者実態調査等により寝たきりの要支援者の把握に努めるとともに避難行動要支援者情報提供同意者の増加に向けた勧奨を推進する。</li> <li>・今後、実施を予定している「重層的支援体制整備事業」において、地域のつながりの創出を目的とした支援を実施するなかで、ボランティアを担う人材の発見や育成に努めるとともに実際の地域福祉活動につながるよう取り組みを推進する。</li> </ul>